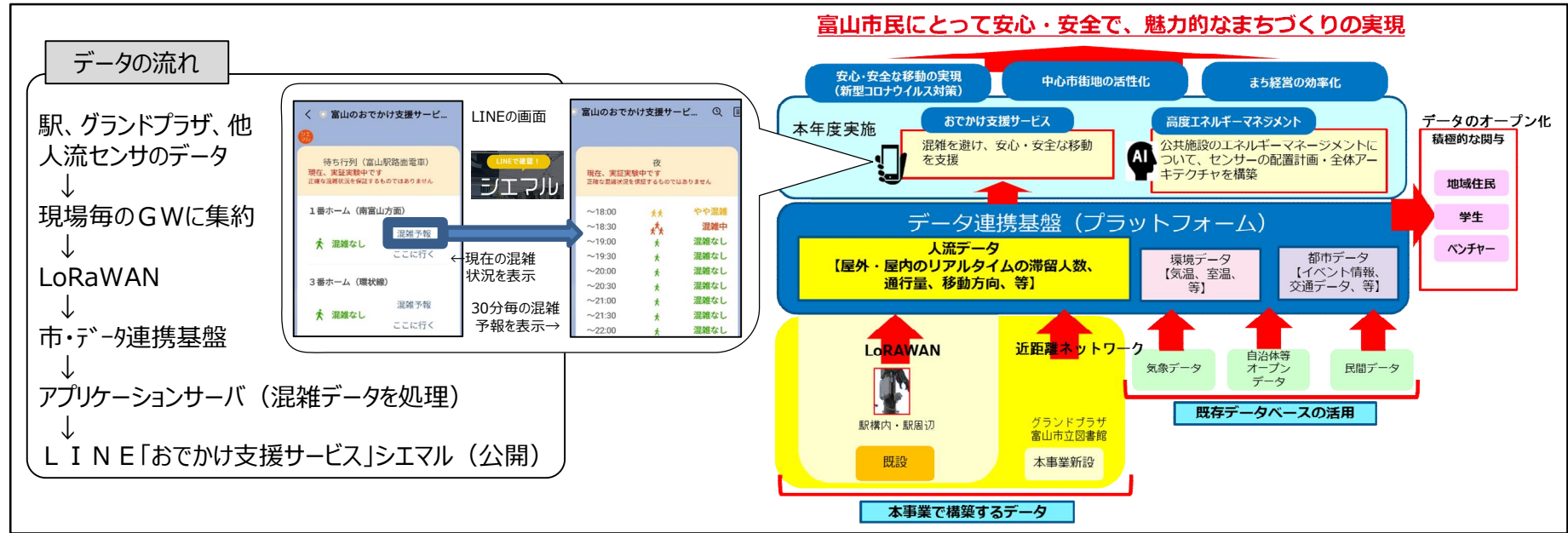


実験タイトル	「とやま」つながりプロジェクト	代表事業者 (連絡先)	関西電力 コミュニティ事業第一グループ (外村：070-2903-4735)
		共同参加者	株式会社センサーズ・アンド・ワークス

■実験内容



■実験により得られた効果

①おでかけ支援サービス「シエマル」の継続【データ利活用】

・過年度に取り組んだ広告施策（地元有名人のおすすめ店舗の追加、ビーコンによる店舗前での情報発信、SNS活用）によりLINEに友達登録した会員（約3.9千人）に対して、富山市中心市街地での周遊コンテンツの提供を継続。

②オープンデータ活用に向けた検討【データ取得】

・昨年度末に富山市が開設した「富山市AIカメラシステム」のオープンデータを活用するための検討を実施。
近接する箇所においては活用や効率化できる見通しが立った。



「とやま」つながりプロジェクトにおける 富山市センサーネットワーク活用について

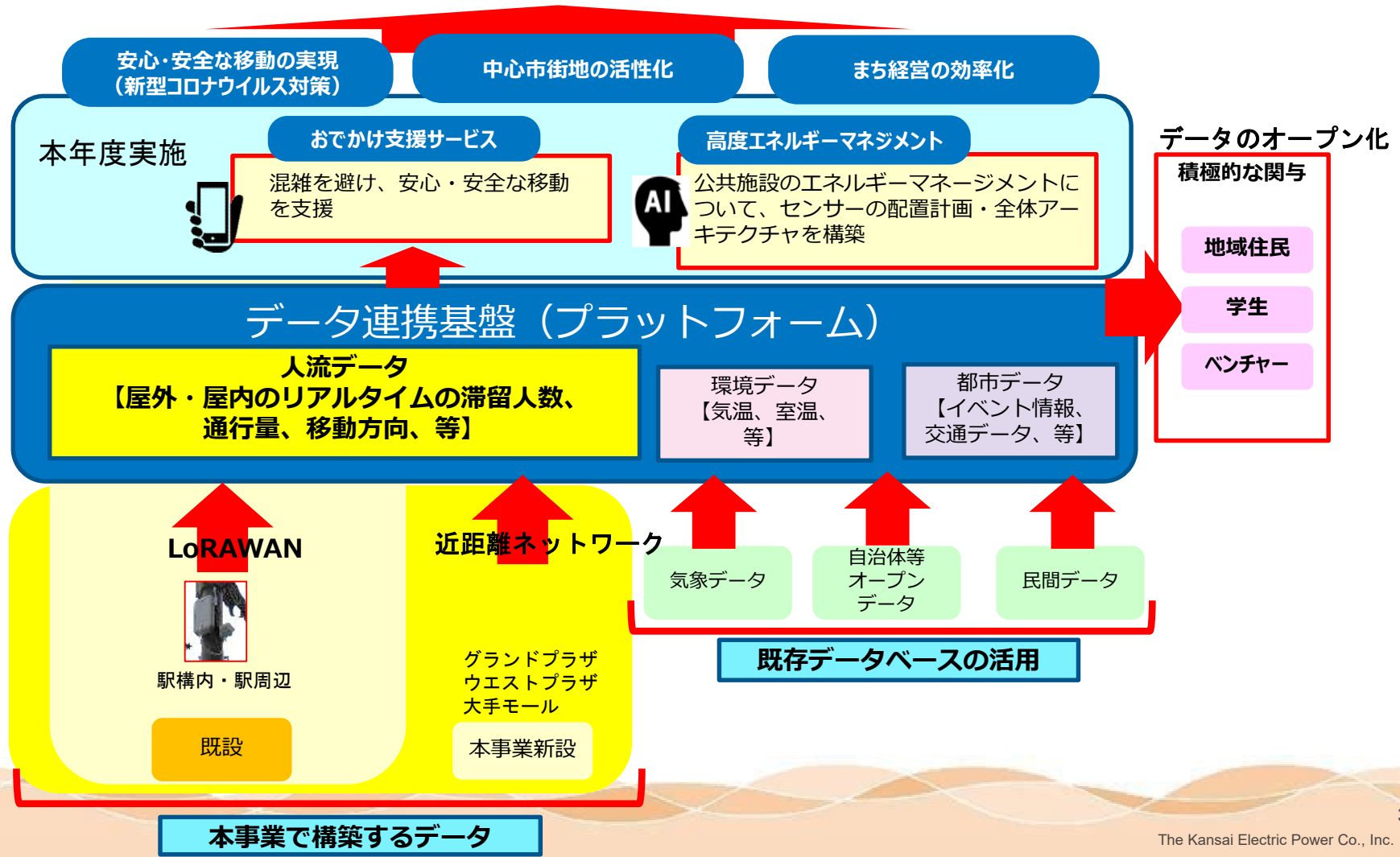
関西電力株式会社
ソリューション本部
コミュニティ事業第一グループ

2024年2月29日

1.実験の目的（「とやま」つながりプロジェクト）

○富山市が抱える地域課題に対し、富山市のデータ連携基盤を活用し、データ利活用型スマートシティによる課題解決を目指す。

富山市民にとって安心・安全で、魅力的なまちづくりの実現



(参考) 人流データの利活用イメージ

- リアルタイム人流データは、データ利活用型スマートシティで汎用性の高い基礎的なデータになると期待
→プライバシー保護を意識しながら、まずは行政、地元にもメリットを実感してもらう基礎的活用事例と整理
- 今後の利活用イメージは、次のとおり。

目的	利用シーン	対象
賑わい創出	①活動評価の根拠として利用する（EBPM）： 行政、デベロッパー等	屋外 屋内
混雑緩和	②実際に行動変容するため利用する： 市民、訪問者（観光客・出張者）	
マーケティング	③民間事業者（地元の商業関係者など）の 販売計画、人員配置	
エネルギーコスト削減 （＝環境負荷低減）	行政、民間の建物管理者など	屋内

実験方法① 人流センサー

設置する人流センサーは赤外線を活用し、
以下の特徴を有する

- 移動方向を検知できる
- ワイヤレス、低消費電力
(電池での長時間駆動可能)
- 小型 (設置が簡単)
- プライバシー保護
- 安価



写真は(株)センサーズ・アンド・ワークス提供

実験方法② お出かけ支援サービス「シエマル」について

- 【2020年度】 おでかけ支援サービス「シエマル」は、新型コロナウイルス対策として、当該エリアの混雑情報および今後の予測情報を市民にリアルタイムで公開し、安心・安全な移動支援を開始。検討にあたっては、市民が利用しやすい情報発信の方法について、ハッカソンコンテストを実施し、選出された富山県内の大学生チームとともに開発。
- 【2021年度】 地元店舗のクーポンを利用可能に改修し、登録店舗数も拡大（52店舗）。
- 【2022年度】 LINEの公式アカウント登録者数の拡大に着手（3千人を突破）
- 【2023年度】 利用者の属性を踏まえたコンテンツを提供できるよう改良し、更なる店舗との連携を深める。

<おでかけ支援サービス「シエマル」の画面>

①WEBによる紹介ページ
<https://www.shiemaru.com/>

②LINEによる友だち追加 ⇒
 はこちら



(参考) LINEでの画面

←現在の混雑状況を表示

30分ごと24時間→の混雑予報を表示

時間	混雑状況	予報
06:00	🚶	混雑なし
06:30	🚶	混雑なし
07:00	🚶	混雑なし
07:30	🚶	混雑なし
08:00	🚶	混雑なし
08:30	🚶	混雑なし
09:00	🚶	混雑なし
09:30	🚶	混雑なし

①おでかけ支援サービス「シエマル」の継続

過年度に取り組んだ広告施策（地元有名人のおすすめ店舗の追加、ビーコンによる店舗前での情報発信、SNS活用）によりLINEに友達登録したユーザ（約3.9千人）に対して、富山市中心市街地での周遊コンテンツの提供を継続中。

→能動的な情報発信(広告)を継続や利用促進に向けた施策の実施、利用者の属性を踏まえたコンテンツ発信により更なる周遊性を促す。

②オープンデータ活用に向けた検討

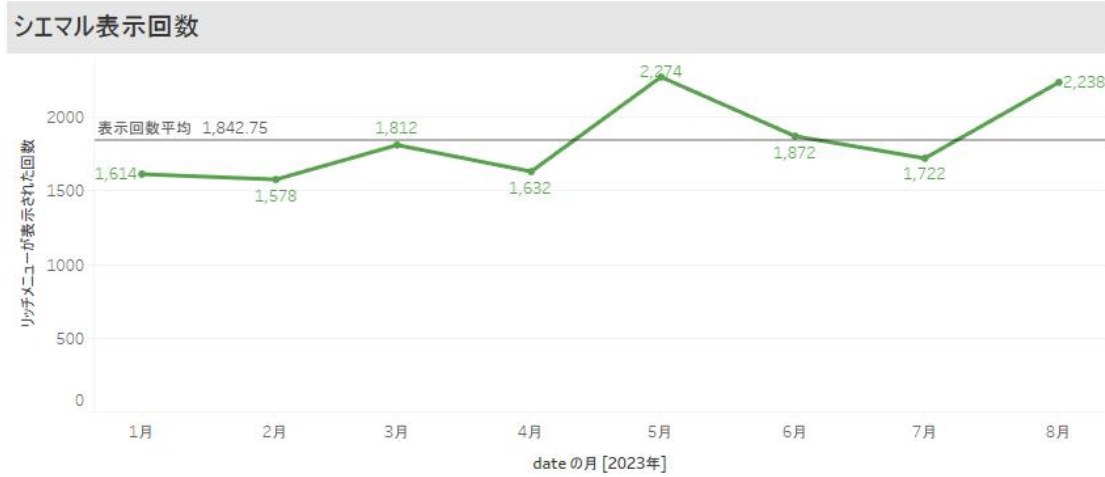
昨年度末に富山市が開設した「富山市AIカメラシステム」のオープンデータを活用に向けて検討を実施。

近接する箇所においては活用や効率化できる見通しが立った。

→アセットの効率化やオープンデータ活用に向けて今後検討、協議。

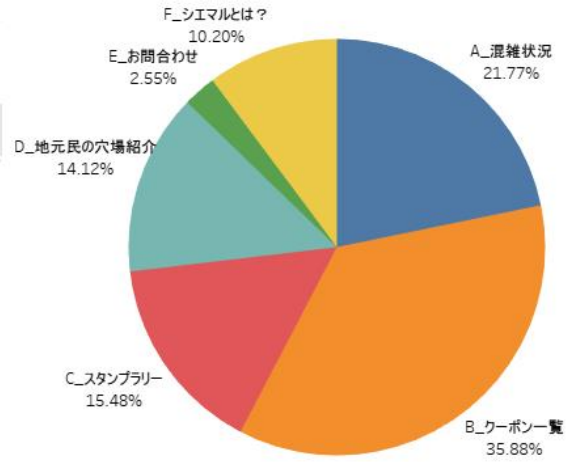
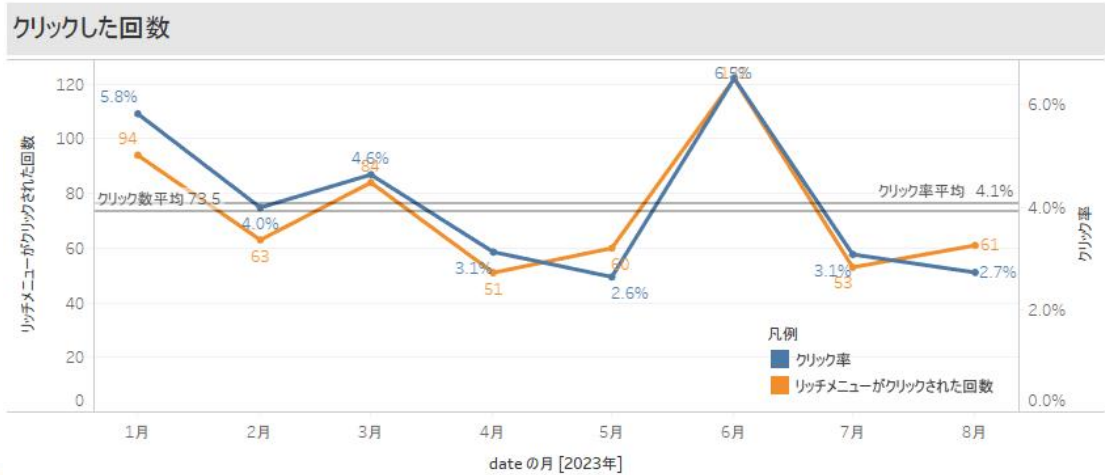
①おでかけ支援サービス「シエマル」の活用状況(アプリ利用状況)

- ・月合計約1.8千回がシエマルが表示されており、4%程度がクリック(利用)されている。
- ・利用が多いメニューはクーポン一覧。次いで、混雑状況、地元民の穴場紹介となっている。
- 利用促進に向けた施策の実施、利用者の属性を踏まえたコンテンツ発信を検討中。



- A 混雑状況
- B クーポン一覧
- C スタンプラリー
- D 地元民の穴場紹介
- E <https://trapol.co.jp/contact/>
- F <https://www.shiemaru.com>

メニュー別クリックした割合



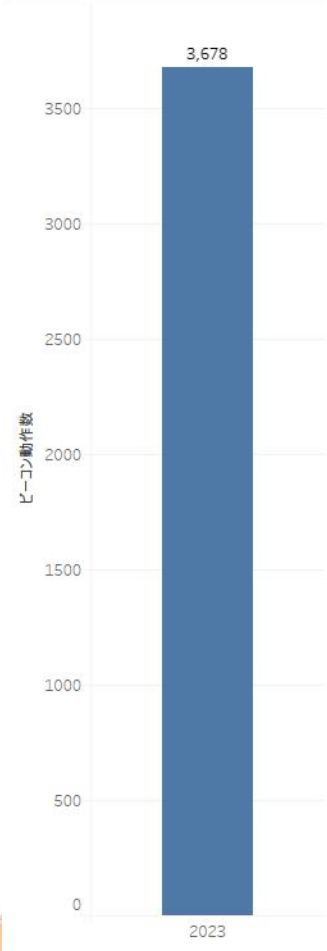
①おでかけ支援サービス「シエマル」の活用状況(情報発信状況)

・シエマル富山に友達登録されているユーザに対して、各クーポン店舗前に設置中のビーコンにより年間約3.7千回(月平均約3百回)にクーポン情報をプッシュ通知。
 →能動的な情報発信(広告)を継続することによる更なる利用(周遊)を促す。

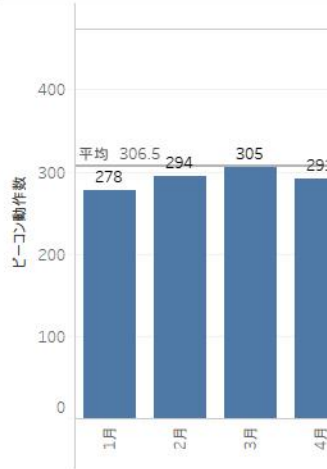
設置中のビーコン



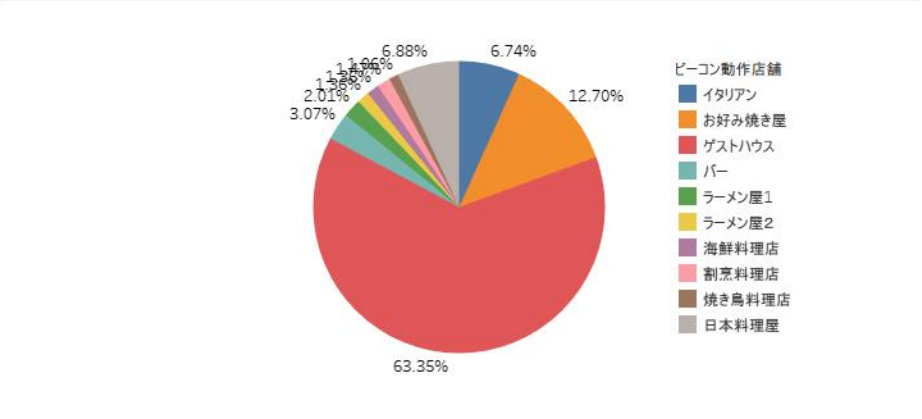
年間ビーコン動作合計



月別ビーコン動作合計



店舗別動作割合

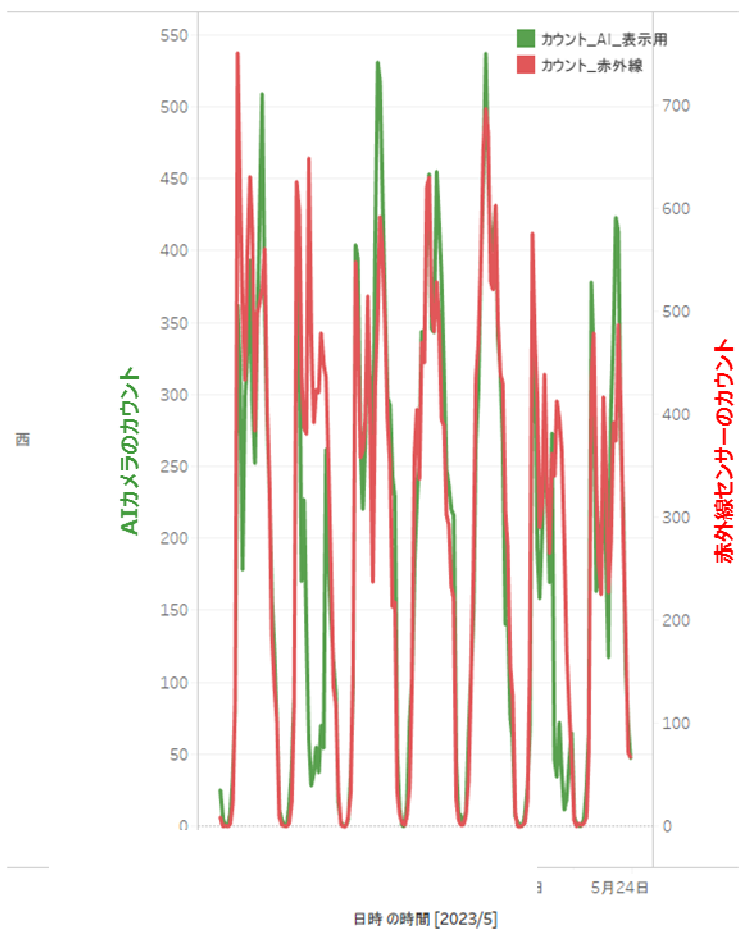


②オープンデータ活用に向けた検討

・富山市AIカメラシステムの計測値と近隣に設置されている弊社人流センサの計測値を比較し、相関性を確認。特にAIカメラ **7** (南北自由通路東西交差エリア)と北口扉と東西自由通路(東型と西側)の人流センサーの計測値においては**強い相関 (相関係数:約0.8)**が確認できた。
→アセットの効率化やオープンデータ活用に向けて今後検討、協議。

マップ

1時間合計歩行者数



散布図

